

平成26年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年10月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社トライアイズ  
 コード番号 4840 URL <http://www.triis.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月14日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 池田 均  
 (氏名) 小出 美紀

TEL 03-3221-0211

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年12月期第3四半期の連結業績(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第3四半期	2,936	△18.2	133	10.4	177	△9.7	40	28.4
25年12月期第3四半期	3,589	△7.4	120	—	196	—	31	—

(注) 包括利益 26年12月期第3四半期 36百万円 (△7.0%) 25年12月期第3四半期 39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期第3四半期	3.56	3.46		
25年12月期第3四半期	2.71	2.65		

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円		
26年12月期第3四半期	7,566	6,431	83.8	576.87		
25年12月期	7,596	6,583	85.8	577.04		

(参考) 自己資本 26年12月期第3四半期 6,343百万円 25年12月期 6,515百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
25年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
26年12月期	—	0.00	—	—	—
26年12月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想(平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,646	△19.5	90	△0.2	90	△56.1	5	△92.4	0.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年12月期3Q	12,000,000 株	25年12月期	12,600,000 株
② 期末自己株式数	26年12月期3Q	1,003,230 株	25年12月期	1,308,850 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年12月期3Q	11,234,661 株	25年12月期3Q	11,485,083 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税増税から半年が経過し、個人消費の落ち込みが予想外に大きく、景気のもたつきが続いております。さらに6年ぶりの円安水準である110円台に入り、大企業は輸出拡大効果があるものの、中小企業さらには家計にもコスト高要因となっております。一方、世界経済についても全世界的な金融緩和状況の中、景気には全くの力強さが見られない状況にあると思います。

このような経済環境のなか、トライアイズグループは、景気変動の影響を受けない企業グループとして、小さくとも知性を使って、その世界ではNo. 1 となり光る企業グループを目指すという方針のもと、「イノベーションによるコスト優位の確立」を最重要目標とし、売上が減少しても黒字化できる体質づくりを続けており、直近の三事業年度にわたり順調に業績回復を実現することができました。当期につきましても引き続き、連結ベースでの営業利益・経常利益の黒字化は当然ながら、これらの増益及び最終損益の黒字化を目指しております。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は2,936百万円（前年同期比18.2%減）と減収となったものの、原価率の改善と販売費及び一般管理費の更なる削減を実現した結果、営業利益は133百万円（前年同期比10.4%増）、投資有価証券清算分配金の計上もあり経常利益は177百万円（前年同期比9.7%減）、税金等調整前四半期純利益は172百万円（前年同期比5.5%減）、四半期純利益は40百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりです。

#### (建設コンサルタント事業)

全国的に防災・減災対策関連業務及び河川管理施設等のインフラ修繕や長寿命化計画策定等に関連する業務の受注は、引き続き増加傾向にあります。

一方で、従来型の新規ダム建設などの受注は依然として厳しい状況にあり、従来型業務から維持管理を中心とした継続性の高い業務への転換を図ってまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,022百万円（前年同期比11.5%減）と減収でしたが、原価率の低減と販売費及び一般管理費の更なる削減を実現した結果、営業利益は208百万円（前年同期比29.5%増）と大幅に改善しました。

#### (ファッションブランド事業)

消費税増税のインパクトはかなり厳しいものがあり、家計においては先行きに対する不安が募り、節約志向が強まり、消費が抑えられています。そういったなか、ファッションブランド事業としましては、来期に向けて各社の商品の在り方を再考しております。CLATHASについては、ブランドイメージを確立するプレミアムラインと既存の顧客をターゲットとするベーシックラインに分け、東京ブラウス(株)の取扱う商品は既存顧客向けのベーシックラインに特化することで業績回復を図ります。濱野皮革工藝(株)については、引き続き、Made in Japanの上質なモノづくりを実施して参ります。これらを受け、拓荊司国際有限公司においては、販売網をオンラインショップに絞ります。ファッションブランド事業全体でネット販売を強化すべく、グローバル市場向けの英語版オンラインショップの準備を進めております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は914百万円（前年同期比29.9%減）と大幅な減収となり、42百万円の営業損失（前年同期は33百万円の営業損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ29百万円減少し、7,566百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が329百万円増加しましたが、仕掛品が367百万円減少したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ122百万円増加し、1,135百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が67百万円減少しましたが、前受金が224百万円増加したためであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ152百万円減少し、6,431百万円となりました。これは主に、自己株式の取得による105百万円の減少及び配当金の支払いに伴う利益剰余金112百万円の減少、四半期純利益計上に伴う利益剰余金40百万円の増加及び新株予約権19百万円の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、平成26年2月14日に公表しました通期連結業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益又は税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。但し、見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,273,552	2,368,256
受取手形及び売掛金	241,535	571,235
有価証券	104,310	104,351
商品及び製品	344,877	309,228
仕掛品	573,115	205,643
原材料及び貯蔵品	60,687	57,913
繰延税金資産	40,820	47,949
その他	77,051	105,051
貸倒引当金	△1,368	△296
流動資産合計	3,714,581	3,769,333
固定資産		
有形固定資産		
土地	814,007	809,621
その他(純額)	261,667	235,162
有形固定資産合計	1,075,675	1,044,783
無形固定資産		
のれん	760,030	629,838
その他	57,610	56,922
無形固定資産合計	817,641	686,761
投資その他の資産		
投資有価証券	1,787,700	1,890,463
その他	222,578	197,085
貸倒引当金	△21,548	△21,548
投資その他の資産合計	1,988,730	2,066,000
固定資産合計	3,882,046	3,797,545
資産合計	7,596,628	7,566,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	175,275	108,204
未払法人税等	83,238	117,775
前受金	435,754	659,799
賞与引当金	—	54,677
返品調整引当金	7,724	3,675
受注損失引当金	7,108	1,077
その他	237,363	123,687
流動負債合計	946,464	1,068,897
固定負債		
資産除去債務	24,111	24,250
その他	42,441	42,153
固定負債合計	66,552	66,403
負債合計	1,013,017	1,135,301
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000,000	5,000,000
資本剰余金	2,070,940	1,926,027
利益剰余金	△274,968	△347,853
自己株式	△291,115	△241,573
株主資本合計	6,504,856	6,336,599
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△2,279
為替換算調整勘定	10,595	9,352
その他の包括利益累計額合計	10,595	7,073
新株予約権	68,158	87,904
純資産合計	6,583,610	6,431,577
負債純資産合計	7,596,628	7,566,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年9月30日)
売上高	3,589,273	2,936,980
売上原価	2,233,026	1,817,484
売上総利益	1,356,247	1,119,495
販売費及び一般管理費	1,235,482	986,156
営業利益	120,764	133,339
営業外収益		
受取利息	1,094	2,949
不動産賃貸収入	14,787	7,305
投資有価証券清算分配金	63,108	35,623
為替差益	9,907	2,229
その他	4,193	3,044
営業外収益合計	93,089	51,152
営業外費用		
支払利息	484	206
不動産賃貸原価	7,668	6,276
事務所移転費用	8,229	—
その他	1,444	983
営業外費用合計	17,827	7,466
経常利益	196,027	177,024
特別損失		
減損損失	7,438	4,386
和解金	6,000	—
その他	—	51
特別損失合計	13,438	4,438
税金等調整前四半期純利益	182,588	172,586
法人税等	151,416	132,560
少数株主損益調整前四半期純利益	31,171	40,026
四半期純利益	31,171	40,026



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年1月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	31,171	40,026
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△2,279
為替換算調整勘定	8,078	△1,242
その他の包括利益合計	8,078	△3,522
四半期包括利益	39,250	36,503
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,250	36,503
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年1月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,284,907	1,304,366	3,589,273	—	3,589,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	146	146	△146	—
計	2,284,907	1,304,512	3,589,419	△146	3,589,273
セグメント利益又は損失(△)	160,850	△33,395	127,455	△6,690	120,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△6,690千円には、セグメント間取引消去△8,220千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額1,529千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年1月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	建設コンサル タント事業	ファッション ブランド事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,022,766	914,214	2,936,980	—	2,936,980
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,022,766	914,214	2,936,980	—	2,936,980
セグメント利益又は損失(△)	208,227	△42,004	166,222	△32,883	133,339

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△32,883千円には、セグメント間取引消去17,656千円、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用の純額△50,539千円が含まれております。全社収益は、主に子会社からの経営指導料であり、全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。